

令和6年度旭区運営方針（案） 具体的取組にかかる令和5年度からの変更点等について

具体的取組	令和5年度の具体的取組にかかる課題、改善すべき点、考慮すべき状況等	令和6年度（案）への反映
1-1-1	取組の内容を分かりやすくするため、具体的な事業名と説明が必要。	具体的な取組内容について追加（赤字箇所）
	これまで「あさひ子育て見守り事業」においては、要保護児童対策地域協議会に登録された世帯を中心に見守りを行っていたところだが、虐待は子育て世帯の孤立により発生する恐れもあることから、対象を広げる必要がある。	あさひ子育て見守り事業の内容を修正（赤字箇所）
	「あさひ子育て安心ネットワーク」において、地域における見守り体制の必要性を中心に議論を展開し、具現化を図っている。	「旭子育て包括支援体制」の構築を推進し、地域全体で見守りを行っている点を強調（赤字箇所）
1-1-2	取組の内容を分かりやすくするため、具体的な事業名や説明を記載する必要がある。	具体的な事業名や事業の説明を追記（赤字箇所含む）
	あさひプレパママレッスンに関して、虐待防止に関連した事業という説明が必要。	「育児不安の解消」を追記（赤字箇所）
1-1-3	取組の内容を分かりやすくするため、具体的な事業名と説明が必要。	具体的な事業名、事業の説明を追加（赤字箇所含む）
	虐待防止に関連した事業という説明が必要。	「孤立防止」を追記（赤字箇所）
	これまで実施していた取組についても、あらためて示す必要がある。	「保育等に係るニーズへの対応」を追記（赤字箇所）
	AI人形を活用した子育て体験教室を行っていたが、中学校ごとで取り組みたい体験教室が異なるため、保健子育て課の専門の範疇にて学校のニーズに応じて講義内容を考えるように内容を変更する。	「区内中学校での体験教室」について内容を追記（赤字箇所）
1-2-1	「学力アップアシスト事業」に関して、物理的な面や人材面での要因により取り組むことが難しい学校があり、より多くの学校が活用しやすい事業内容とする必要がある。	新たなメニューとして「地域人材等を活用して、授業のサポートや読み聞かせなど学力向上の基盤づくりを行う。」を追記（赤字箇所）
1-2-2	「体力アップアシスト事業」及び「プログラミング体験学習」は、実施初年度であったこともあり、実践を踏まえてより効果的で持続可能な事業内容に調整していく必要がある。	事業趣旨や概要は継続するため特段文言の変更はしていない。運用面で学校がより取り組みやすいよう事業者や大学とも調整を続けていく。
1-2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を広く周知しても参加申込に繋がりにくく、個別に本事業を必要とする中学生にアプローチするため、子どもに関わる機関との連携をさらに深める必要がある。 ・中高生が働くことを身近に感じるができるよう、身近なところでの職業見学・体験の取組をより充実させる必要がある。 	「特に、学校や子ども食堂など子どもに関わる機関と連携し、当事業への利用が望ましい中学生の参加につなげる。また、身近なところでの職業観を育む環境づくりのために、区内で協力を得られる事業所を増やす。」を追記（赤字箇所）

具体的取組	令和5年度の具体的取組にかかる課題、改善すべき点、考慮すべき状況等	令和6年度（案）への反映
2-1-1	取組の内容を分かりやすくするため、具体的な事業名を挙げ、分かりにくい名称の事業についての説明が必要。	具体的な事業名、事業の説明を追記（赤字箇所含む）
2-2-1	障がいのある方や高齢者等の配慮が必要な方の防災に関する取組については、災害時の支援を主な課題としており、「誰もが安心して暮らせる仕組みづくり」に関する取組であることから、適切な項目へ変更する必要がある。	障がいのある方や高齢者等の配慮が必要な方の防災に関する取組を「具体的取組2-2-2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりの推進」へ移動
2-2-2	取組が多岐にわたることから、よりわかりやすく説明するため、具体的な文言を追加する必要がある。	「認知症の方等」を追記（赤字箇所）
	障がいのある方や高齢者等の配慮が必要な方の防災に関する取組については、災害時の支援を主な課題としており、「誰もが安心して暮らせる仕組みづくり」に関する取組であることから、適切な項目へ変更する必要がある。	自立支援協議会における防災に関する取組を「具体的取組2-2-1 誰もが活躍できる仕組みづくりの推進」から移動
	障がいのある方や高齢者等の配慮が必要な方の防災に関する取組については、支援を要するすべての方が対象であることから、より具体的な文言を追加する必要がある。	「高齢者等の配慮が必要な方」を追記（赤字箇所）
2-2-3	区内イベントへの参加促進等を目的として、交通アクセスの利便性向上のための視点について提起があった。	高齢者等に対する区内交通アクセスの確保を目的とした補助事業を継続するため、文言に変更はない。また、区内の移動に関するニーズ等に留意していく。

具体的取組	令和5年度の具体的取組にかかる課題、改善すべき点、考慮すべき状況等	令和6年度（案）への反映
3-1-1	コロナ禍による活動等の自粛の動きが終わり、各地域で地域活動が再開されてきたが、各地域とも事業実施・運営の内容・方法等に課題が生じており、継続した課題解決に向けた取組が必要である。	文言上、新たな要素は発生しないので変更はしていない。取組の運用面で反映していく。
3-1-2	コロナ禍による活動等の自粛の動きが終わり、スポーツ・文化活動が再開されてきたが、事業実施・運営の内容・方法等に課題が生じており、継続した課題解決に向けた取組が必要である。	文言上、新たな要素は発生しないので変更はしていない。取組の運用面で反映していく。
3-1-3	コロナ禍による活動等の自粛の動きが終わり、各地域で生涯学習活動が再開されてきたが、事業実施・運営の内容・方法等に課題が生じており、継続した課題解決に向けた取組が必要である。	文言上、新たな要素は発生しないので変更はしていない。取組の運用面で反映していく。
3-1-4	さまざまな人権に関する課題に加え、新たな人権課題も生じていることから、継続した取組が必要となっている。	文言上、新たな要素は発生しないので変更はしていない。取組の運用面で反映していく。
3-2-1	これまで「あさひファン★フェスタ」等を、区民の皆様と共に進めているが、地域や商店街など、多くの方々よりお力添えをいただくことが増えていることから、新たなつながりを生み、絆を深めていただけるよう、具体的な文言を追加する。	「区民の皆様と共に」を「区民や地域の皆様、地元の店舗、商店街、大学等と協力して」に修正（赤字箇所）
	「旭区ブランドの認定及び活用」に含まれていた「あさひわくわく♪キーワードラリー！」を「あさひファン★フェスタ」と並ぶ具体的取組として、新たに項目を追加する。	「商店街などのブランド等を周遊するイベント」を追記（赤字箇所）
	各種取組について、コロナ禍で得た創意工夫を活かしながら、今後は徐々に規模の拡大などをめざしていく。	文言上の修正はないが、参加された区民やご協力をいただいた皆様等のご意見を踏まえながら創意工夫を重ね、取組の規模や運営面、SNSの活用などの広報に反映していく。

具体的取組	令和5年度の具体的取組にかかる課題、改善すべき点、考慮すべき状況等	令和6年度（案）への反映
4-1-1	<p>これまでも「X（旧ツイッター）」や「インスタグラム」などのSNSを活用した防災啓発に取り組んでいたことから、SNSに関する文言を追加する必要がある。</p>	<p>「SNS」を追記（赤字箇所）</p>
4-1-1	<p>これまで大型粉末消火器を区内に配備してきたが、運搬が困難などの課題があるため、大型粉末消火器の使用期限を迎えるタイミングで、地域とともに新たな消火器材の導入について検討が必要となった。</p>	<p>「新たな消火器材の導入について、地域とともに検討を進める。」を追記（赤字箇所）</p>
4-2-1	<p>新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、「withコロナ」を踏まえた「非接触型啓発」という啓発方法に配慮する必要がなくなった。</p>	<p>当該取組である「『withコロナ』を踏まえた『非接触型啓発』などの手法による」を削除</p>
4-2-1	<p>旭警察署との協議を踏まえ、防犯カメラの設置整備を計画的に行うため、令和6年度設置予定を1台とする。</p>	<p>「令和6年度設置予定1台分」と表記（赤字箇所）</p>